

平成 29 年 8 月 8 日 (火)

Gサイエンスツアー 1—現代知の最前線へ—



8月8日(火)～9日(水)1泊2日で、2年普通科5名(男子3名、女子2名)、2年学究科1名(女子1名)、1年普通科5名(男子1名、女子4名)、1年学究科6名(男子1名、女子5名)の計17名で、現代知への最前線をテーマにGサイエンスツアーを実施しました。初日の8日は、台風5号の影響が残る中、朝6時に信濃大町駅前から貸切バスで出発し、予定より30分遅れて最初の訪問先の岩波書店と講談社に到着しました。両社訪問にあたっては、課題図書を読むとともに、事前学習会で出版業界の歴史と現状、科学的手法を用いた仮設定、検証、考察等を経て出版される出版物に関することについて学び、自らの課題を設定する中で、当日講演していただく内容について検討をしました。当日は両社において、編集局部長級の方からその内容に沿った講演をいただきました。出版社の1日の具体的な仕事は、1週間のスパンで見ると仕事の具体的な内容はどうか。1ヶ月のスパンで見ると仕事の具体的な内容はどうか。今、出版したい内容の本は。来年、出版したい本の内容は何か。昨年、出版すれば良かったと思う内容の本は何か。本の売れ行きが近年良くないが、出版社が思う本の必要性は何か。それと、出版量が多すぎると感じることはないのか。一つの本ができるまでの過程を具体的に教えてほしい。その過程で一番大切にしていること重要なことは何か。その時間も含めて、その過程の対価はどのように考えているのか評価しているのかといった質問が出されました。講談社では、図書資料室や実際に撮影を行うスタジオに入ることもできました。このような機会を設けていただいた両社には大変感謝するところであります。

